

熊本市電におけるタッチ決済とQRコード決済の導入について

1. はじめに

熊本市交通局では今年度より、市電運賃の支払い方法としてタッチ決済とQRコード決済を本格導入いたしました。この新たな支払い方法の導入によるメリットや今後の課題等について説明します。

2. タッチ決済とQRコード決済の概要

市電運賃の支払い方法として、従来の現金や交通系ICカードでの支払いに加えてタッチ決済とQRコード決済を本格導入しました。

タッチ決済は、クレジットカードやスマートフォン等のデバイスを決済端末にタッチするだけで支払いが完了します。



また、QRコード決済は、スマートフォンのアプリを使って画面上に表示したQRコードを、決済端末にかざすだけで支払いが行われます。熊本市電は全線均一運賃としておりますので、どちらの支払い方法についても、



乗車時の処理は不要で、降車時のみの操作で決済ができます。

タッチ決済については、今年度の本格導入以前に令和4年7月7日から令和5年3月31日までの間、対象ブランドや対象車両を限定し、実証実験を行いました。その後、令和5年4月25日より、対象ブランドを5ブランドとし、全車両において本格導入いたしました。

QRコード決済については、実証実験期間を設けず、タッチ決済本格導入日である令和5年4月25日より本格導入しました。QRコード決済についても全車両において、5ブランドでの利用が可能です。

3. メリットについて

タッチ決済とQRコード決済は、利用者にとって現金を用意する必要がなく、財布や小銭を持ち歩く手間が省けます。キャッシュレス決済の手段が多様化する中、利用者のニーズに合った運賃支払い手段を導入することで、利用者の利便性向上に寄与します。

また、タッチ決済とQRコード決済の導入により、観光客は短期間の滞在中でも手軽に市電を利用できます。海外ではキャッシュレス決済の普及が進んでいるため、インバウンド対策としても効果的な決済手段であると考えております。

4. 今後の課題

本格導入以降、他の決済方法と比較した決済件数の割合は、タッチ決済では1.21%、QRコード決済は1.26%です（令和5年6月末時点）。今後は、利用者への周知活動や普及キャンペーン等の広報活動を通じて、広くタッチ決済とQRコード決済の利用手順やメリットについて周知を図っていく必要があります。

また、現時点での取り扱いブランドは、タッチ決済、QRコード決済ともに各5ブランドですが、より多くの利用者のニーズに対応できるよう、今後、利用可能なブランドが拡大するよう努めてまいります。

5. おわりに

タッチ決済とQRコード決済の本格導入は、利用者にとって便利でスムーズな決済方法であると言えます。現金に頼らない新たな支払い方法は観光客の利便性も向上させ、インバウンド対策としても有効です。今後も熊本市交通局は利用者のニーズに合った運賃支払い手段を導入することで、より先進的な公共交通システムの実現に貢献してまいります。

〈問い合わせ〉

熊本市交通局 総務課

電話：096-361-5233